

市立三笠総合病院看護師の負担軽減計画書

目標 効率的な人員配置により、部署間の業務量の格差を是正する。
他職種との連携強化・業務分担により、負担の軽減を図る。
看護職員の確保に努める。

現状・問題点	目標	計画	取組み状況
<p>入退院の増加、患者の重症化、高齢化に伴い看護師への負担が大きい。</p>	<p>看護補助者の増員と教育で負担の軽減を図る</p>	<p>看護補助者の研修を行い看護師からの指導の基に業務改善を行う。</p>	<p>現在、パートタイム会計年度任用職員として、一般病棟に4名、療養病棟に5名を配置している。</p> <p>e ラーニングの活用、院内年2回以上の研修により、看護補助者の知識・技術の向上を図っている。</p> <p>看護補助者業務マニュアルを作成し業務が明確になったことにより、療養上の世話を自主的に実施する時間が増加している。</p> <p>介護福祉士の採用とリクルート</p> <p>将来的には外国人採用も検討</p>
<p>職場間の業務量の格差が大きい。</p>	<p>看護師に代わり各職種が業務を担当し負担軽減を図る。</p>	<p>各職種による看護業務の代行</p>	<p>採血業務の実施、各種検査時の患者介助、各種物品の準備・後片付け等の取組みを継続し、負担軽減を図る。</p>
	<p>助勤体制、業務内容の検討により、負担の均等化を図る。</p>	<p>安全で効果的な助勤体制を組む。 平日の午後または余裕のある時間帯は、他部門へ出向き、可能な業務を実施する。(外来から病棟、病棟間などで実施する)</p>	<p>病棟外来一部一元化し、病棟看護師を曜日・時間帯により効率よく必要な人員を配置予定。</p> <p>手術室看護師を外来との兼務とし、手術時のみ対応を継続している。</p> <p>既製品の導入など、中材の業務改善により有効な人員配置を行っている。</p> <p>透析センター看護師が病棟への患者の搬送業務を担っている。</p>

現状・問題点	目標	計画	取り組み状況
<p>今後 5 年間、多数の定年退職の予定がある。</p>	<p>十分な看護師の確保を図り、看護基準・看護の質の維持・向上に努める。</p>	<p>看護師修学資金貸付制度について、貸付限度額を増額するよう一部改正するなどにより、看護師確保に努力する。</p> <p>年齢要件を変更する。</p> <p>一年間を通して公募を実施する。</p> <p>再任用制度により、定年退職後も勤務を希望する者に対し、本人の経験を生かせる職場を提供する。再任用期間終了後には、臨時職員としての活用を図る。</p> <p>教育体制の充実を図る。</p>	<p>看護師修学資金貸付制度の限度額を増額した。 今後、近隣の高校、看護大学、看護専門学校、看護師予備校等への案内を検討。</p> <p>修学資金は、令和 3 年度は 3 名へ貸付けしている。また、准看護師が通信教育を受ける場合も修学資金貸付対象とし、准看護師の募集を継続する。</p> <p>看護実習生を受け入れ、看護師確保に努める。</p> <p>平成 23 年度から 2 校の実習を受け入れている。</p> <p>看護師採用時の年齢枠を 53 歳まで引き上げた。</p> <p>随時応募を継続する。</p> <p>定年退職者の再雇用を継続している。</p> <p>e-ラーニングを活用し、各々好きな時間に学習できる環境を作っている。 R6 年度はクリニカルラダーの導入とマネジメントラダー・コンピテンシーを行い、管理者の教育と次世代育成に力を入れる。</p>

		<p>子育て支援と人材確保、若い世代の雇用のため、院内保育所を開設する。</p> <p>ワークライフバランスに考慮し、本人の可能な時間帯での短時間勤務者を採用し、効率的に人員配置を行う。</p> <p>募集案内の拡充 市広報、病院ホームページ、ハローワーク、ナースバンク、新聞へのチラシ折込み、新聞への記事掲載依頼など</p>	<p>平成 24 年 7 月に院内保育施設を開設したが、アピール不足。</p> <p>短期臨時・パート職員を採用し、曜日・時間帯を考慮して配置している。</p> <p>市の広報誌や病院のホームページへの記事掲載、ハローワークやナースバンクへの登録、新聞へのチラシ折込み、新聞への記事掲載依頼に取り組んでいる。</p>
--	--	---	--